

載 轉 禁

# 國際法雜誌

論說雜錄

外交の發展を望む 法學博士 寺尾 立太郎 氏

條約の效力發生の時期 法學博士 立 作太郎 氏

新租借地論 法學士 尾 川 名 氏

海軍より觀たる日露休戰條約 法學士 加 福 豐 次 氏

黒木軍の戦利品 法學士 加 福 豐 次 氏

赤十字條約會議に於ける日英委員の消息 法學博士 高 橋 作 衛 氏

國際法大家カルボウ氏を弔す 法學博士 高 橋 作 衛 氏

戰爭宣言に關する疑問 アルベリック、ローラン

ナタルに於ける軍法 テー、イ、ホルランド

軍法の正當 サイ、フレデリック、ボロツク

研究資料

局外中立法案 リシャル、クリン

外交時事……西壁反響 法學博士 高 橋 作 衛 氏

○國際農事協會 ○續新聞 ○松花江口に於ける露人 ○北太平洋探險隊 ○加拿多西北地とホドソン ○露國と波斯海 ○阿非利加境界問題 ○獨逸と太平洋 ○列國と亞比西尼亞 ○ジブチー鐵道附近の不穩 ○獨逸東印度 ○佛領印度支那 ○北部波斯の騷擾 ○ニューファンランド漁人と米國人 ○土國に於ける人民の不満 ○フアンニグ島の實験 ○匈牙利新内閣組織 ○獨逸西南阿非利加の騷擾 ○獨逸東部阿非利加 ○獨逸と波斯海 ○英國と清國及西貢 ○英露の關係 ○ウアッチカン 派と拜律實 ○埃及に於ける佛國貿易 ○獨逸通商の發達 ○亞比西尼亞追放人の暴動 ○阿拉斯加境界條約と米國 ○埃及に於ける英國守備兵 ○印度と西貢 ○西貢條約の調印 ○土耳其と波斯 ○波斯の近況 ○阿非利加に於ける英佛の境界 ○土埃境界問題

第五卷 第一號

禁 轉 載

國 際 法 雜 誌

論說雜錄

保護國論を著したる理由

法學博士 有賀長雄

戰利品論

法學士 鯉川新

租借權の性質と關東州の租借地

法學士 篠田治策

佛國學界の爲めに哀悼の辭を呈す

法學士 長岡春一

外人遺留財産整理狀況

法學士 鯉川新

軍法の正當（承前）

サイ、フレデリック、ボロツク

新著評論

オッペンハイム氏の國際法を評す

法學博士 高橋作衛

研鑽資料

局外中立法案（承前）

リチャール、クライン

外交時事……西聲反響

法學博士 高橋作衛撰

◎土國と波斯國の邊境東印度の角闘◎阿非利加に於ける佛國と土國◎印度と西藏◎暹羅國の農業貿易◎土衛の紛議◎亞比西尼亞匪徒の鎮定◎フランニンゾ島◎セルビア新内閣◎西部歐洲新内閣◎葡萄牙新内閣◎葡領西南阿非利加に於ける騷擾◎瑞典獨逸通商條約◎南阿非利加に於ける英獨の紛議◎土境問題とデルグレイツレニ、パルヤ◎土埃境界問題◎土埃境界決定委員◎瑞典新内閣◎印度境上の角闘◎波蘭國會創設の詔勅◎白亞通商條約の締結◎西部阿非利加に於ける英佛兩國◎佛國の雲南侵略◎伊國新内閣

第五卷 第貳號

會告

論說雜錄

チュニスに於ける佛國保護權の設定

租借權の性質と關東州の租借地(承前)

滯佛中の歐洲外交界雜觀(其一)

國家の承認は溯及力を有するや

佛國に於ける國家と宗教との分離問題

日智修好通商條約

外交時事

總選舉後の佛國政界——佛國の新内閣——佛西通商條約の廢棄——三國同盟の更新——德國新外務大臣「アエレンタール」男——捷洪國に於ける選舉法の改正——英土の接近——露國內閣の宣言——露國の農制改革——「ウキツア」と其日記——臺灣に於ける日本人排斥運動——清國官制改革——伊國「ミラン」府に開かれたる萬國平和會議——本年の國際法協會——日本及佛國に於ける本年の外交官試驗問題

長岡春一

篠田治策

長岡春一

遠藤源六

長岡春一

長岡春一

長岡春一

# 國際法雜誌

第五卷 第三號

禁 轉 載

會 告

論說雜錄

國際法上の海賊に付て刑法改正案に 國際法學會  
特に規定を設くるの必要ありや否

保護國の類別論 法學博士 立作太郎

滯佛中の歐洲外交界雜觀(其二)

大使館書記官 長岡春一  
ドクトワール、エス、レットル

外國商船内の犯罪に對する裁判管轄權問題に付て

外務書記官 菊地駒次  
法學士

占領地に於ける遺留財産 法學士 蝶川新

チヨニスに於ける佛國保護權の設定(承前、完)

長岡春一

外交時事

露國の財政に關する大藏大臣の報告——ツルンツギ—— ける虎殺——

——クレマンソー氏の宣言——ビュロー公の演説——葡國外務大臣の埃

伊訪問——國際法學會——西班牙に於ける政教問題と内閣の更迭——

ドラゴ主義

國際法雜誌

第五卷 第四號

禁 轉 載

論說雜錄

海賊の處分に關し國際法學會の爲したる建議に對する  
法律取調委員會の回答

歐洲土產

法學博士 秋山雅之介

萬國平和論に就て

法學博士 寺尾 亨

滯佛中の歐洲外交界雜觀(其三、終)

ドクトゥール、エス、レットル 法學士 長岡 春一

外國商船内の犯罪に對する裁判管轄權問題に就て(承前)

外務書記官法學士 菊地 駒次

南滿鐵道附屬地論

法學士 鯉川 新

佛國に於ける國家と宗教との分離問題(承前)

長岡 春一

外交時事

佛國に於ける勞務省の新設——英佛兩國の軍事協商——前伊國外務大臣  
ブリノッチー氏の宣言——英露協商の風説——再び露國の農民問題  
に付て——澳法國外務大臣アレンタール男の演説——ゴルホフスキ  
伯爵の辭職に關する政治的雜觀——土國帝位の繼承問題

國際法雜誌

第五卷 第五號

論說雜錄

戰地に於ける宣教師の保護

法學博士 有賀長雄

野外要務令の改正と戦時公報

法學士 加福豊次

保護國論に關して有賀博士に答ふ

法學博士 立作太郎

日露戰役に於ける日本軍の軍律

法學士 篠田治策

南滿洲の施政殊に帝國諸機關の權限に付て

在北京 塚積辰馬

外交時事

葡廷帝國議會の解散と修正案——丁福の新條約——佛國首相の獨佛關係——佛國外務大臣の宣言——西班牙内閣の更迭——伊國議會に於けるチットニー氏の演説——アビシニヤに關する英佛伊協同——米國大統領とフリー、ノベル——阿弗汗爾斯巨王の印度遊歴

# 國際法雜誌

第五卷 第六號

國際法雜誌第五卷第七號(每月一回發行) 明治三十六年四月三十日第三種郵便物認可 明治四十年三月十八日發行

禁 轉 載

論說雜錄

公法の本質(完)

法學博士 鮎 克彦

チュニースに於ける領事裁判權の撤回事情

ドクトワール、  
エス、レゾトル、  
長岡 春一

帝國國際法演習報告

(美國に於ける日本學堂の排斥を論ず——國家の責任を論ず——瓦城  
千停車場問題を論ず)

東京帝國大學  
法科大學教授 高橋 作衛

外交時事

蘇士運河を通過する獨逸船舶——露國革命の豫性——露國帝國議會新  
選舉に對するビニロー公の演說——教會と國家

公 文

アビシニヤに關する英佛伊協約

國 際 法 雜 誌

第五卷 第七號

論說雜錄

ドラゴ―主義と國際法

法國と其被保護國に於ける行政  
法學博士 立作太郎

相續及び遺言に關する海牙條約僭評  
ドクトゥール、  
エス、レツトル、 長岡春一

戰爭論  
學習院教授 山口弘一  
法學士 蟻川 新

小亞細亞に於ける獨逸帝國の經營  
法學士 藤井 實

帝國 國際法演習報告(承前)  
大學 (美國に於ける日本學堂の排斥を論ず—國家の責任を論ず—冤獄  
于停車場問題を論ず)

外交時事

法學博士 高橋 作衛

光緒三十二年(即明治三十九年)に起りたる清國重要事件—モロツコ  
問題に關する獨逸の懸け引—普佛戰爭の外交史料の公表—第二回  
海牙平和會議—米國の國際法雜誌の發刊

# 國際法雜誌

第五卷 第八號

禁 轉 載

論說雜錄

日露戰爭に於ける清朝陵寢及重要市街の保護

法學博士 有賀 長雄

戰爭論(承前) 法學士 堀 川 新

露國官憲の我同胞俘虜に對する待遇を論ず

法學博士 秋山雅之介

「デプロマシー」の釋義 法學士 堀 川 新

帝國 國際公法演習報告(承前)

法學博士 高橋 作衛

公 文

萬國無線電信條約

外 交 時 事

佛蘭西暹羅間の新條約——日露間諸條約廢止進行の模樣——澳地利と

洪牙利との經濟關係分離問題——波斯に於ける内訌と英露の態度——

日英露佛蘭極東に關する協商の風評——獨逸統一策と獨逸孤立策——

日佛間協約就——遼東中立地帯に於ける清國館兵問題——蘇平謀殺事

件——租借地に於ける法權問題——第二回海牙平和會議に關し駐米露

國大使の書翰——英國に於ける伏見宮殿下——日露漁業條約條議定書

の協定事項——萬國無線電信條約に對する英國議會の態度——蘇士運

河の發達——英國海峽の隔道開鑿計畫——國防上より觀たる英國海峽

隔道

國 際 法 雜 誌

第五卷 第九號

論說雜錄

黒木軍と赤十字 法學士 加福豊次

暹羅國に於ける各國領事裁判の現制一般 法學士 山内四郎

相續及遺言に關する海牙條約備評(承前) 學習院教授 山口弘一

小亞細亞に於ける獨逸帝國の經營(承前) 法學士 藤井實

公文

日佛協約

病院船に關する條約

大連海關設置に關する協定

附屬州租借地に於ける製造品に關する規則拔萃

外交時事

ラバロフに於ける露帝相と伊外相との會見——カスセーヌに於ける英西兩帝の會合——ガートに於ける英伊兩帝の會合——第二平和會議と軍備制限問題——獨逸帝國議會に於けるビュロー公の外交演說——四月下旬に於ける獨逸新聞紙の論調——中米戰爭と米國——日土條約交渉の風説——露國新聞の日佛協約評——桑港に於ける暴行事件——清國東三省の官制改革——日清鐵道協約——伊蒙鐵道と英國——北滿に於ける露清電線聯絡條件——露國の嶺山選附に關する代價——滿洲に於ける露人の採礦——露國貯蔵給養費——露國內閣員の交迭——日米獨逸海運線の連絡に就て——蒙古に於ける露人の舉動

禁轉載

國際法雜誌

第五卷 第拾號